

FRESH

No.38

平成27年11月号



鳥取県立 農業大学校

〒682-0402 倉吉市関金町大鳥居1238

TEL 0858-45-2411

FAX 0858-45-2412

E-mail : nogyodaigaku@pref.tottori.jp

HP : <http://www.pref.tottori.lg.jp/noudai/>

農大



オープンキャンパスの様子

学ぶ仲間のつながり

校長 爲計田 ひろみ

農業に関心を持つ高校生や社会人の皆さんに農業大学校を知っていただくことと今年もオープンキャンパスを開催し、模擬授業や農場実習で、生産から販売までを実際に体験しながら学ぶ大学校の一端を体感していただきました。

農場実習では、専攻コースの学生も、高校生の皆さんに作業の方法やコツを丁寧に説明していました。先輩から後輩へとつないでいくのは大学校の伝統です。教えることでより理解が深まり、また、身近な先輩として聞き手によくわかるようにとの心遣いも感じられます。

こんな関係が元となり、多くの学生が寮生活をすることもあり、学ぶ仲間として互いに強い絆で結ばれていきます。

学生や研修生の皆さんには、卒業（修了）した後も、それぞれの地につながるの輪を広げ、めざす農業の実現に向けて頑張ってくださいと思います。

新たな研修制度がよいよスタートします！

今秋、新規に農業を始める皆さんに向けて、より充実した学びと技能習得の機会を提供できるよう、研修課程の研修制度を大幅にリニューアルします。

1 アグリチャレンジ研修（公共職業訓練）～実践に活かせる技能をマスター！～

就農に必要な基礎知識と実践に役立つ技能を習得できる3ヶ月間の研修プログラムであり、産業人材育成センターからの委託を受けて実施するものです。

座学講義、栽培管理実習に加え、各種農業機械の操作・メンテナンス方法、農薬・肥料散布の留意点とコツ、パイプハウスの解体・組立のほか、木工・溶接の基礎など知っておきたい応用スキルを身に付ける技能演習を行います。

第1期研修（研修期間：11月5日～1月29日）は、20名で開始することとなりました。今後、年4回のペースで開講予定です（開講時期：2月、5月、8月、11月）。

2 先進農家実践研修～農業のことは農家に学ぶ！～

「師匠」となる農家のもとで実践ノウハウを学ぶ、1年間の自営就農希望者向けプログラムです。アグリチャレンジ研修を受講し、基本的な知識と技能をマスターの上、自営に向けた次のステップとして本研修を活用いただく流れです。

自営就農の成功には、指導いただく農家の方のみならず、市町村、JA、農業改良普及所など地域の様々な機関、生産部の支えが欠かせません。今後は、本校からも研修調整員が現場に出向き、関係機関や農家の皆さんと話し合いながら、研修受入体制づくりに参画させていただきます。

本研修は、アグリチャレンジ研修の終了時期にあわせ、年4回ペースで開講予定です。

3 スキルアップ研修～技術力の向上をサポート！～

経営の主力となる品目について、一連の栽培管理技術を1年間学んでいただく制度です。本校の施設で個別指導を基本に、受講生の個々の課題に対応していく「オーダーメイド」の研修を仕組んでいく方針です。

年2回の開講（4月、10月）を予定しています。

各研修の次回募集予定など

※各研修制度、募集に関する詳細は、本校HPにて御確認ください。

	アグリチャレンジ研修	先進農家実践研修	スキルアップ研修
定員	20名	5名程度	7名程度
募集期間	H27.11.26～H28.1.6	H27.11.5～11.30 H28.2.10～2.29	H28.2.1～2.29
面接審査	H28.1.18	H28.1.12 H28.3中旬	H28.3中旬
研修期間	H28.2.10～4.28	H28.2.1～H29.1.31 H28.5.1～H29.4.30	H28.4中旬～H29.3下旬
応募方法	住所地のハローワークに入校願書提出	就農予定市町村に受講願書提出	本校に受講願書提出
受講料	無料	無料	111,600円

モンゴル珍道中

～農業を通してモンゴル中央県との国際交流をはかる～

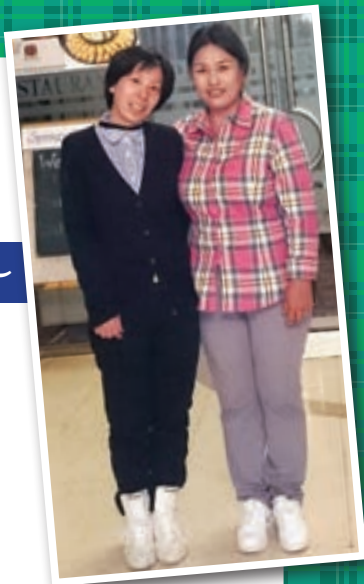
農大では、平成10年よりモンゴル中央県の農業研修生の受け入れをおこなっています。研修生はモンゴルで栽培の盛んな施設でのキュウリやトマトの栽培方法を学び、現地でその知識と技術を普及されています。

そんな研修生の活躍ぶりを見て現地でのフォローアップを行なうため、私と野菜コースの先生でモンゴルへ行ってきました。



モンゴル中央県の農業局に到着すると、早速元研修生のトゥムルトヤさんがお出迎え。

彼女は日本語がペラペラでとても明るい方。現地での再会をとても喜んで下さいました。彼女の呼びかけで、元研修生が集まって下さることになりました。



その日の夜に私たちの歓迎パーティー。モンゴル人はとても陽気でおもてなしが大好き。モンゴル料理とウォッカで盛大に盛り上がりました。農大での研修の思い出、慣れない日本での生活、先生のこと……話は尽きることなく、夜は更けていきました。



次日はバヤルフーさんのほ場を訪問。彼女は現地でも有数の大規模農家です。近年ではスイカやイチゴなども積極的に経営に取り入れられています。

「農大で学んだスイカの接ぎ木技術を使っているんですよ」と聞いて、嬉しくなりました。現在は若手農業者の育成も取り組まれており「農大に行ってもらいたいわ」とおっしゃってました。

キュウリの栽培は農大での栽培技術を基に、モンゴルの事情にあわせて少しアレンジされています。日本ではおなじみの「キュウリネット」を使わず、上から垂らした紐にツルをまきつけていきます。モンゴルは夏でもとても冷涼な気候で栽培期間が短いため、日本のようにわき芽を伸ばして収量を上げることができないためです。

とても立派なキュウリが栽培されており、研修の成果が広く普及されていることに驚きました。



こちらは同行した先生による栽培講習会の様子です。現地視察をして感じたことや改善点などをわかりやすく説明されていました。現地の方から質問が飛び交い、熱心さが伝わってきました。

時には地元で活躍されている元研修生がフォローにまわられたりして、大盛況でした。

農家留学研修で農家の皆様にお世話になりました

平成27年度農家等留学研修

農家留学研修は、先進農家や農業法人に2年生を派遣する取り組みです。高度な栽培技術や販売のノウハウ、地域とのふれ合いなど、農家生活の生の姿に接しながら、身をもって学びます。時期は7月から9月にかけて、期間は26日間です。

今年は19名の2年生のうち、10名が県外の農家で研修し、近くは島根県、遠くは北海道で学びました。残りの学生は県内での研修でしたが、3名は農家に泊まり込んで生活を共にしながら研修しました。

農大での日頃の生活とは環境が大きく変わりますから、それなりの緊張もしたでしょうし、戸惑いもあったと思います。ですが、帰ってきた学生は、ずいぶん成長したように見えました。生活態度を含め、多くのことを学んだのでしょう。学生諸君、お疲れ様でした。そして受入農家の皆様、本当にありがとうございました。



果樹コース おお たに ゆう ぎ 大谷 結紀

私は、京都府京丹後市で梨・ブドウの栽培及び直売をされている日下部農園で研修をさせていただきました。

研修内容は、主に梨の収穫や選果、進物用の箱作り及び梨の箱詰め等であり、さまざまな作業を経験させていただきました。

日下部さんに日々指導していただく中で、効率よく作業を進めるための方法や、常に先々のことを考えて行動することの大切さなどを学ぶことができ、大変勉強になりました。

また、日下部さんご夫婦やアルバイトの方々には研修中大変丁寧なご指導をいただくとともに一般社会におけるルールなど、自分の将来にとって大切なお話をうかがうことができました。

卒業後は農業関係の仕事に就職しますが、今回の研修で経験したこと聞いたことを十分に活かして頑張りたいと思います。



野菜コース ほり ば しょう た 堀 場 翔太

熊本県宇城市の大規模トマト農家の畑野様にお世話になり、8月下旬から9月中旬にかけて研修を受けさせていただきました。熊本県はトマト生産量が現在日本一を誇っており、宇城地区はその中心地となっています。

この産地では主に秋冬穫りの抑制栽培が行われ、研修では苗の定植や誘引作業を行いました。栽培されていたトマトの殆どは加工用品種で、大手ジュースメーカーに出荷されます。

九州は台風被害の多い地域ですが、私が研修に入った次の日に大型台風15号が熊本県を直撃し、復旧作業という想定外の貴重な体験もさせていただきました。

研修中、農園の皆様には丁寧な御指導と温かいおもてなしを賜り、とても感謝しております。この貴重な体験を今後の就農に向けて生かして行きたいと思います。



花きコース 木村睦

私は、伯耆町で野菜（西瓜、白菜等）・花き（小菊等）の栽培をされている松原農園でお世話になりました。小菊は普段の専攻実習等で関わっているのですが、野菜栽培は初めてで、自分はここで本当にやっていけるのか不安でいっぱいでした。

研修に行った頃は、西瓜の栽培が終了し、秋冬用の白菜の種まきが始まっていました。

また、小菊はお盆～秋彼岸頃まで出荷が続いていたので、私は主に小菊の収穫・出荷調整や出荷の作業をさせていただきました。

私は様々な作業が遅く迷惑をかけたのですが、その都度松原さんが効率よく作業をする方法を教えてくださいました。また、解らないことや不安に思った事はため込まずに気軽に誰かに相談し、早く解決していくということが重要だと学びました。この貴重な体験を今後活かして頑張ろうと思います。



作物コース 武田航平

私は、南部町の井田真樹さんの所で研修させていただきました。井田さんは、合鴨農法を中心に農薬・化成肥料をほとんど使わないで大規模に稲作をされている他、小麦も生産しパン作りをされています。

研修中は、草刈り、稲刈り、乾燥・調製作業の他ネット販売用の米の出荷作業を中心に米作りについて学びました。その他、第6次産業の勉強のためにと休日にピザを作らせていただきました。

私は有機栽培と6次産業化に興味があります。それらを実践されている井田さんの下での研修は、とても勉強になりました。

今回の研修は、私にとって自身の農業のビジョンをより明確にする良い機会となりました。



畜産コース 小林憧威

私はこの度、鳥取市のハーモニカレッジ空山ポニー牧場で研修を受けました。そこでは馬のブラッシングをはじめとした飼養管理、周辺の草刈りや施設の修理など牧場運営のお手伝いができ良かったと思います。

その他、馬の調教や乗馬も指導頂きました。乗馬は簡単そうで以外に難しく、普段使うことのない筋肉を使うので、筋肉痛になりましたが、良い経験でした。

牧場にはほぼ毎日、乗馬経験に多くの人たちが訪れ、特にシルバーウィーク期間中は牧場内でキャンプ企画があり、多くの子供たちで溢れかえり、非常に賑やかでした。

研修期間中に飼料用トウモロコシ収穫作業で一時学校に戻ったりしましたが、何事もなく研修を終えることができました、とても充実した研修でした。



1年生農家派遣研修 畜産コース 高濱征彦

私は、7月21日から23日までの3日間、北栄町で養豚をされている柿本修一さんのところで研修させていただきました。そこでは母豚が60頭、肥育豚が500頭以上飼育されていました。私は実家でも農大でも牛しかかま

ったことがなく、豚の仕事するのは初めてで、どんなことをするんだろうと、わくわくしました。

やらせていただいた作業は餌やり、草刈り、糞かき、去勢でした。また人工授精も見せていただきましたが、すごく衝撃的でした。3日間ではありましたが、とても貴重な体験をさせていただきました。



お知らせ

平成28年度入学生を募集中です！

農業を目指してともに学びましょう、
仲間たちが待っています。

農業に関心と意欲のある方であれば、農家非農家を問いません。自
営就農はもちろんのこと、最近では農業法人等への雇用就農など就農形
態も多様化し、就農のチャンスが広がっています。

■募集人員

養成課程農業経営学科 30名（推薦入学者を含む）
※出願時に果樹・野菜・花き・作物・畜産のコースを選択

■試験日程等

区分	一般入学前期 及び 社会人特別入学前期	一般入学後期 及び 社会人特別入学後期
受付期間	平成27年11月2日(月) ～11月20日(金)	平成28年1月4日(月) ～1月22日(金)
試験日時	平成27年12月6日(日) 午前9時から	平成28年2月7日(日) 午前9時から
合格発表	平成27年12月11日(金) 正午	平成28年2月12日(金) 正午

昨年に引き続き「鳥取短期大学との交流会」を開催しました

今年で2年目となった鳥取短期大学との交流会では、学校の
施設を紹介しながら野菜の収穫体験を行いました。

また、収穫した野菜を調
理しみんなでカレーを食べ
ながら自分の趣味について
話すなど楽しく交流するこ
とができ、有意義な時間を
過ごせました。



『修農祭2015』開催のご案内

毎年恒例の修農祭を開催します。学生が作った農産物や加工
品を販売します。特に力自慢の学生によるつくたてのモチは、
毎年好評です。

その他、抽選イベントや食べ物の屋台もあります。お誘い合
わせのうえ、多数おいでください。お待ちしております。

日 時 11月23日(月) 午前10時～午後1時

場 所 農大校舎西側の駐車場および格納庫周辺

*駐車スペースを十分用意しております。詳細は駐車場の学
生におたずねください。

